

西大巔山スキー (2016・12・29) 報告

【山城】 吾妻山系・西大巔

【日程と天気】 2016年12月29日 晴れ時々曇り

【メンバー】 CL 菊池・吉川・薄井、チーム福島5名(現地リーダーWさん)、計8名の合同ツアー

【行程】

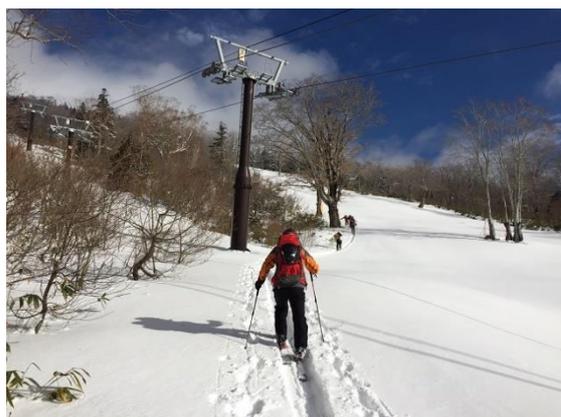
千葉(わが家) 2; 40-薄井さんPU-千葉北IC-大栄JC-常磐道-郡山-猪苗代IC-7:30 五色沼入口環境省ビジターセンター(集合)8:25-グランデコススキー場駐車場-ゴンドラ-ゴンドラ上駅発(1390m) 9:50-第4クワッド脇の非圧雪斜面をシール登行-10:30 第4クワッド上駅着-12:30 西大巔山頂着(1982m)-滑走-14:10 スキー場ボトムレストハウス(1010m)-帰葉-帰宅(20:40)



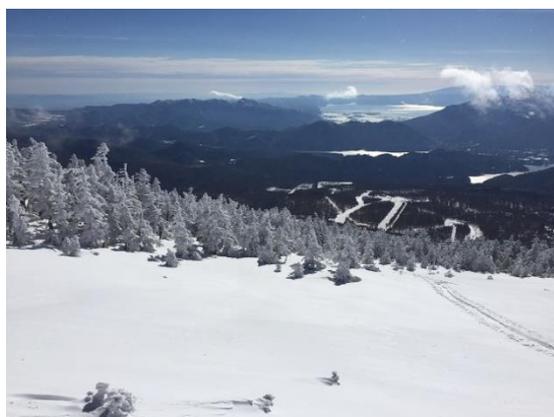
・12月29日は仕事納めの翌日で、以前より年末の日帰り山スキーを楽しむことが多かった。シーズン初めであり、ツアーに十分な積雪に達しないエリアが多いが、神楽や西大巔なら過去の情報からパウダーツアーができる可能性があり、この2エリアを候補に挙げていた。山スキーMLで昨年からのやり取りを行っているチーム福島のgoro-wさんから同日西大巔ツアーを実施する連絡を頂き、わがちば山もそれに合流することにし

て降雪を待った。クリスマス寒波では北信妙高地区にはそれなりの降雪があったが、吾妻山系には期待したほどの降雪がなく心配したが、27日～28日にある程度の降雪があり、グランデコスキー場の積雪が50cm→65cmに増加、果たしてそのくらいの増加でBCを楽しむことができるか不安であったが、当日五色沼入口の環境省ビジターセンターに集合、初対面のチーム福島の5名と合流した。

・最上部のリフトはこの日の10時から運転開始になっていたが、ゴンドラを降りて第4クワッドリフト脇の非圧雪ゲレンデをシール登行することとした。低温のため、上質パウダーの積もったゲレンデをハイクアップ、滑りたい気持ちを抑えて40分で第4クワッドリフト上駅地点に到着、いよいよBCエリアへの進入である。下部は笹が出ており、下藪が煩い、斜度が増すとシラビソの狭い林間に細かい凹凸が多くなり、先頭は苦勞する。30～40cmの新雪の下地は固い。交代でラッセルしたが、比較的軽い新雪のため、それほど苦勞せず高度を稼いだ。上部に行くとも多少開けたエリアもあり、なんとか滑走できそうである。



ニセピークに近づくと最初のオープンエリアがあり青空の下、シラビソの樹氷とのコントラスト素晴らしい。隊列組んでのハイクアップは絵になり、テンションも次第にアップしてきた。山頂直下のオープンバーンに到達するコース取りは要注意である。斜度を増した密なシラビソ林のトラバースでやや気を遣う。百戦錬磨の福島チームのかじ取りは絶妙である。



広いオープンバーンに達すると、雪質は最高で雄叫び滑走が期待できる。振り返るとシラビソ樹氷林の向こうに太陽に照らされて光っている猪苗代湖が眺められた。

・間もなく西大巔山頂に到着、東斜面を覗いてみると楽しめそうであるが、新雪に下敷が隠れている可能性が高く危険性があり我慢した。



山頂付近は風速は最大10mほど、かなり低温である。行動食を採りながらの滑走の準備をしている間に天気は悪化傾向、視界不良になってきた。記念撮影をしてオープンバーンに向かってパウダーランのスタートである。入山は我々のみとっているとボーダーの若者グループ3~4名が到着、スノーシューの単独者ともすれ違い、結局入山者は3パーティ、計12名ほどであった。広いオープンバーンは登りトレース以外は全くのノートラックである。シュカブラも殆どなく快適なパウダーランにやはり雄叫びが上がった。刻まれたシュプールを見ながらゾンデで積雪を計ってみると131cm。今年の1月6日はスキー場で1m、頂上付近で約2mと記憶している。要するに頂上付近はゲレンデの2倍の積雪と言えます。



間もなくシラビソ林の滑走となったが、積雪不足で難しい。登りトレースの近くを忠実に下ることを心掛けながら、1~2ターンでもできるところを鵜の目鷹の目で探しながら下った。ゲレンデに近くなるにつれ、凹凸と下に隠れている枝にスキーを引っ掛け転倒する場面が多くなり気に抜けない終盤であったが無事ゲレンデに到達できた。



・最後に用意されたメインディッシュは閉鎖ゲレンデのパウダーランである。既に数本のシュプールがあり、やや重く締まった雪質はあなどれない。気を抜くとバランスを崩して転倒してしまう。両足でしっかり板を踏んでの頑張り滑走が有効である。皆さん思い思いのシュプールを刻んでいた。ゲレンデボトムのレストランまでは長いゲレンデ滑走である。皆さんハイスピードで滑走していくが、小生は大腿四頭筋がパンパンになりはじめ、おもに、アルペンターンで最後から皆さんを追った。



積雪不足ではあったが、予想以上に楽しめた今シーズン最初の本格的BCツアーであった。チーム福島の皆さんに感謝いたします。